



Title	ELSI VOICE NO.4 目次
Author(s)	
Citation	ELSI VOICE. 2023, 4, p. 3-3
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/89931">https://hdl.handle.net/11094/89931</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# アカデミア×ビジネス： ELSI視点で「共創」する

---

IT技術の進展によって、現代社会は膨大なデータを利活用した新たなシステムやビジネスの可能性が大きく広がっています。とりわけスマートフォンの浸透は、位置情報データを活用した技術やマーケティング手法の開発など、データビジネス業界に大きな展開をもたらしていると言います。一方、データを提供する側の一般市民にとっては、自身のどんなデータが、どのように利活用されるか、仕組みが複雑で理解しがたい状況が生まれています。そうした中、データビジネス業界をはじめ各界から注目されているのが、ELSI（倫理的・法的・社会的課題）の視点と、その専門知を生かして信頼性を担保したデータ利活用の仕組みづくりです。

大阪大学社会技術共創研究センター（ELSIセンター）では2021年春、「ビジネスとアカデミアのタッグで挑む、攻めのELSI」というテーマ<sup>※</sup>のもと、3回にわたりオンライン・トークイベントを開催しました。第3回目はその締めくくりとして、ビジネスの現場で活躍されると同時に、招へい教員として1年間ELSIセンターの取り組みに加わってこられた朱喜哲さんと工藤郁子さんをゲストに迎え、「ELSIというビッグウェーブ、乗りこなせるか？のみ込まれるか？」と題して、前2回の内容やELSIセンターの活動を振り返りながら、ELSIをキーワードとしたビジネスとアカデミアの連携のあり方など、今後を展望しました。

※「ビジネスとアカデミアのタッグで挑む、攻めのELSI」は、グランフロント大阪（大阪梅田）の中核施設である知的創造・交流の場「ナレッジキャピタル」が提供する学びのプログラム「SpringX 超学校」として3回シリーズで開催されました。

---

## CONTENTS:

04 | **TALK1 : ELSIのビッグウェーブを哲学する**  
(朱 喜哲)

10 | **TALK2 : ELSIを社会に取り込む仕掛け**  
(工藤 郁子)

14 | **DISCUSSION :**  
ELSIというビッグウェーブ、乗りこなせるか？のみ込まれるか？  
(朱 喜哲 × 工藤 郁子 × 岸本 充生 × 八木 紘香)